

グローバル人材の育成～本物の英語力と国際交流

本校はSGHやWWLコンソーシアム指定校になる以前から、英語運用力・活用力の育成や国際交流活動に注力してきました。また、卒業生の協力や高大連携の機会を得ることで、多様な講演・講義を提供し、学際的にも広い視野を獲得した真のグローバル人材の育成をめざしています。

[ふだんの授業]

- ・ネイティブ教員が常駐
- ・4技能をバランス良く伸ばすカリキュラム
- ・ペアワーク等の多用

[学内留学]

- ・土曜日を利用する人気の講座
- ・All Englishで講義を受け、リサーチし、議論し、発表も行います

[即興型英語ディベート]

- ・与えられた「お題」をめぐって論理を組み立てる
- ・チーム戦のあとジャッジによる判定とアドバイス

[外部講師による講演]～近年の例

- ・ノーベル化学賞 吉野彰 氏 (北野卒)
- ・JAXA副所長 藤本正樹 氏 (北野卒)
- ・ラグビー日本代表元主将 廣瀬俊朗 氏 (北野卒)
- ・東大名誉教授 養老孟司 氏

[海外研修]

本校で最も歴史の長い国際交流は、シアトルのセントウッド高校(姉妹校提携)との相互訪問プログラムです。シンガポール・マレーシア・ハワイの大学や企業における海外研修実績もありますが、今後は台湾・オーストラリア・ヨーロッパでの研修を充実させ、2年生全員が取り組む課題研究活動とリンクした形をめざしています。

また、近年は、留学生の長期受入も行っています。



六稜同窓会

北野高校では卒業生のことを学年ごとに、〇〇期生と呼びます。138期生の入学する令和5年が150周年です。計算が合わないと思うかもしれませんが、詳しいことは、北野高校の長い歴史の中に隠されています。ノーベル賞を受賞された吉野彰さんは、本校の78期生です。

卒業生を束ね、北野高校の現役生を支えてくださっているのが、六稜同窓会です。校舎屋上にそびえる天文台も、卒業生の設計、寄贈によるものです。上記のような講師の招聘や海外研修活動に対しても、基金の創設等で支援をいただいています。

